

# 特殊詐欺対策ニュース

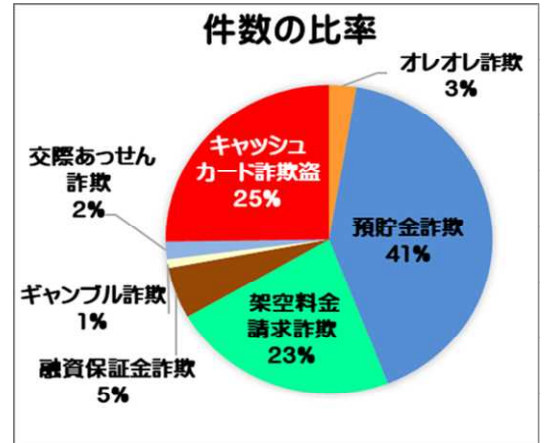
令和2年9月  
警察本部生活安全企画課

## 特殊詐欺認知状況（令和2年8月末） ※暫定値

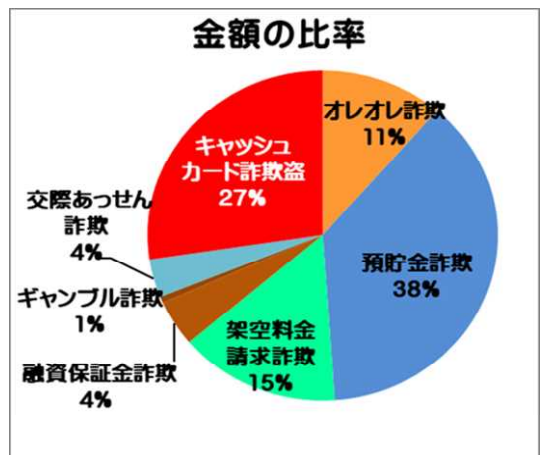
### 1 特殊詐欺の認知件数・被害額の状況

		認知件数	被害金額
特殊詐欺合計	R2	111	247,943,616
	R1	103	294,863,881
	増減数	8	-46,920,265
オレオレ詐欺	R2	3	28,051,000
	R1	19	32,210,000
	増減数	-16	-4,159,000
預貯金詐欺	R2	46	93,198,660
架空料金請求詐欺	R2	25	36,928,996
	R1	44	186,310,866
	増減数	-19	-149,381,870
融資保証金詐欺	R2	6	11,126,770
	R1	2	1,063,000
	増減数	4	10,063,770
還付金詐欺	R2	0	0
	R1	2	1,424,797
	増減数	-2	-1,424,797
金融商品詐欺	R2	0	0
	R1	0	0
	増減数	0	0
ギャンブル詐欺	R2	1	1,540,000
	R1	0	0
	増減数	1	1,540,000
交際あっせん詐欺	R2	2	9,244,190
	R1	0	0
	増減数	2	9,244,190
その他の特殊詐欺	R2	0	0
	R1	1	39,930
	増減数	-1	-39,930
キャッシュカード詐欺盗	R2	28	67,854,000
	R1	35	73,815,288
	増減数	-7	-5,961,288

【認知件数の内訳】



【被害金額の内訳】



※ 令和2年1月1日から特殊詐欺の類型が変更となっているため、類型別の前年同期比については参考値

※ 令和2年より、預貯金詐欺・キャッシュカード詐欺盗が特殊詐欺に追加されました。

【預貯金詐欺】警察官や金融庁職員等を装って、「あなたの口座が犯罪等に利用されており、キャッシュカードの交換手続きが必要である」などの名目で、キャッシュカード、預貯金通帳等をだまし取る手口

【キャッシュカード詐欺盗】警察官や銀行協会等を装って、「キャッシュカードが不正に利用されている」などの名目により、キャッシュカード等を準備させた上で、印鑑を取りに行くなどした際に、キャッシュカード等の入った封筒をすり替えるなどして窃取する手口

### 2 8月中に認知した主な事件

#### (1) 金融機関職員をかたる者による預貯金詐欺事件(100万円被害)

被害者方に、金融機関職員をかたる男から、「カードが変わるので職員が取りに行く」などと電話があり、電話で暗証番号を伝えた上、被害者宅を訪れた男にキャッシュカード1枚を手渡したところ、口座から100万円が引き出された。

#### (2) 融資会社をかたり保証金等を騙し取る融資保証金詐欺事件(約200万円被害)

被害者は、インターネットで検索した業者から、紹介を受けた融資会社をかたる業者に融資を求めたところ、信用保証金及び供託金を指定口座に振り込むように指示され、3回に分けて現金約200万円を振り込んだ。

○ 令和2年8月末における特殊詐欺の認知件数は111件で、前年同期に比べ7.8%増加しています。

○ 令和2年8月末における特殊詐欺の被害金額は約2億4,800万円で、前年同期に比べ13.2%減少しています。

○ 特殊詐欺被害者の年齢層は、高齢者(65歳以上)の割合が79.3%となっています。

○ 特殊詐欺被害者の居住形態は、家族と同居している割合が48.6%となっています。

★ 預貯金詐欺・キャッシュカード詐欺盗の被害件数が全体の66.7%、被害金額が65.0%と半数以上を占めています。

★ 8月は、キャッシュカード詐欺盗が1件、預貯金詐欺が5件増加しています。